校 長 室 だ よ り（No.31）

令和５年２月２日
丹波市立黒井小学校長
谷口　千尋

令和５年度に入学されるみなさんへ

令和５年度の黒井小学校は、４月 10 日の入学式に 22 名の新入生を迎える予定となっています。先日も認定こども園かすが花の子園の生活発表会に向けての練習を参観させていただきました。きびきびと元気よく、自分の役割を演じている子どもたちの様子を拝見し、今から一緒に勉強できるのがとても楽しみです。来月７日には、４月に入学を控えられている新入生の保護者の皆さまに来校いただき、入学にかかる説明をする予定です。この説明会の最初に私から３つのことをお願いしたいと考えています。

～命の大切さ～

新型コロナウイルス感染症が流行して３年が経過しました。５月からは、５類相当として扱われる予定ですが、収束は見えず、閉塞感を感じることも多くあります。しかしながら、100 年に一度といわれますこの状況の中であるからこそ私たちは考えなくてはならないことがあると思います。この３年、医療現場の方々をはじめ国民全体で守ろうとしているものは、「命」であると考えます。自分の命、家族の命、友だちの命の大切さを入学という節目に、ご家庭でお話しいただければと思います。

～学校は楽しいところ～

子どもたちは、小学校への入学を控え入学できる「喜び」と、これまでの認定こども園などとの生活環境が大きく変わることに対する「不安」が入り混じった状態です。よく言う期待と不安でしょうか。私たちは、「もう１年生なんだから、いつまでもそんなことを…」「こんなことでは、小学校にいけないよ…」などという言葉で、子どもたちを励まそうとしてしまいます。

しかし、これらの言葉は子どもの小学校や小学校の生活に対するマイナスイメージをつくってしまいがちであるといわれます。「１年生になったら、友だちがいっぱいできるよ。」とか「算数の勉強は楽しいよ。」「タブレットパソコンがあるよ。」というように明るく、楽しく、夢と希望をもたせてあげるような「プラスの言葉かけ」が大切だと考えます。他にも、「小学校は、運動場が広くていろいろなことをして遊べるよ。」「音楽や図工などいろいろ楽しいお勉強があって楽しみだね。」などの楽しい話題で早く小学校へ行きたい、いろいろな勉強がしたいという気持ち（期待）を持たせていただきたいと思います。

～安全で安心して通える学校に～

子どもたちが安心して通える学校にすることは、学校の基本です。小学生の歩行中の交通事故

（平成 29 年～令和３年）をみると、小学校１年生の死者・重傷者数は６年生の約 3.7 倍、死者に絞ると１年生は６年生の 7.0 倍に上ります。ピークは５月中～下旬で下校中及び遊び等のなかです。様々なことが原因として考えられますが、児童は、視野が大人と比べてまだ狭く、身長も低いため遠くまで見渡せません。あわせて、興味や関心のあるものに衝動的に動いてしまうことが多いことも大きな原因です。ドライバーからすれば、小さくて見えにくいうえに、１年生は、他の学年と違った時間帯に下校していたり、行動が読めなかったりすることもあるようです。学校でも十分に指導をしていきますが、家庭においても交通量の多い道路や踏切等のあるこの校区の特徴を考慮したうえで指導いただきたいと思います。